

「帰化・永住権申請ビジネス」

極東からの東方の賢者ワイズマンです。

基本的にビジネスは「他力力」です。

自分ではやらない。

お客様と役務者との橋渡し、それが僕たちの志向するビジネスです。

志向とは「向かう方向」という意味です。

で、ここでいう役務者とはスペシャリストであり、有資格者であり、職人さんを指します。

その有資格者の最たるモノが「士業」と呼ばれている人たちです。

士業とは弁護士、税理士、行政書士、司法書士、社労士ですね。

彼らが具体的にどういう仕事をしているのか？

実を言うと、弁護士と税理士以外は何をしているのか？私にはわかりませんでした。

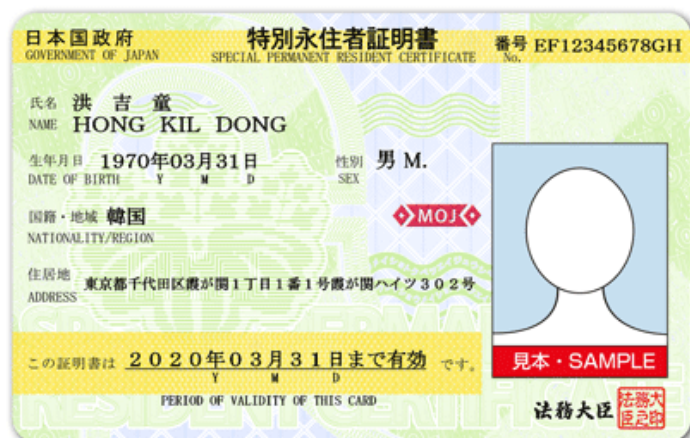
今でもはっきりわかりませんが・・・。

といいいいながらも行政書士の資格を取ってみようかな？と思い、参考書と問題集に格闘したこともありましたが、50手前で受験もないよなということで諦めました。

別に自分が士業に就く必要はなく、「士業」の方は市場に溢れていますので、「他力力」です。

もし、あなたの近くに・・・たぶんいないと思いますが、「行政書士」の方がいたら、このビジネスをプロデュースしてください。

それは「帰化・永住権の申請ビジネス」です。



今、中国人がこの市場のお客様です。

一昔前はフィリピン人でしたが、今は断然、中国人です。

外国人はコミュニティ化します。

一度、「帰化・永住権の申請業務」を行えば彼らの口コミで一気に広がります。

で、なんで中国人なのか？

私自身も香港が中国に返還される年にカナダのトロントに住んでいました。

カナダは英国領ですから、大量に香港から移民が帰化・永住して来ました。

自国に対して信用していない国民が中国人です。

彼らは自国を信用していませんから、子孫の多くを海外の国籍を取得させたり、永住権を取らせたりします。その申請業務が行政書士のビジネスです。

中国語でサイトを作成し、中華料理店へ FAX-DM を打つだけです。

具体的な内容ですが「あの震災にも関わらず冷静に助け合う日本人の国民性に感動

しました」と帰化・永住権の申請動機を中国人に代わって代筆するだけです。

情報が制限されている市場はどこか？

これがネット時代の新規市場を探す視点、そのひとつです。



※彼は誰でしょう？

東方の賢者

正式名称 Wiseman From The East 極東よりワイズマン